



2025年度

「基盤整備」事業報告書

2026年3月

一般社団法人 日本船舶品質管理協会

1. 事業目的

舶用工業製品の品質の改善、及び品質管理の向上を図り、国の検査制度の円滑な運用に寄与するとともに、会員企業の発展に必要な事業を推進する。

2. 事業の内容（計画）

2. 1 品質管理調査研究事業

検査に係る国際的動向等を踏まえ、事業場の自主検査体制の合理化、品質の改善等に係る各種事業を実施し、関係先に対して意見交換、意見具申を行う。

2. 2 指導事業

船舶検査制度の適正、かつ円滑な運用に資するため、必要な指導や情報提供を行う。

2. 3 救命艇装置の安全性向上のための人材養成事業

講習会を開催し、救命艇装置整備技術者の養成、確保を図るとともに、研修会を開催し、整備技術者の技能の維持、向上を図る。

2. 4 相談事業

会員等からの各種相談に応じる。

3. 事業の実施結果及び成果

基盤整備事業は、当会の自己資金及び日本財団の助成金により実施する事業であつて、2025年度は、次のとおり4事業を実施した。

3. 1 品質管理調査研究

(1) 認定事業場の自主検査と検査制度に関する調査研究

実績なし。

(2) 船用品の品質改善・品質管理の向上に関する調査研究

「落下傘付信号の到達高度推計技術の開発」の助成申請に関する準備調査を実施した。

(3) 新規認定物件に関する調査研究

新たに型式承認された物件を調査、整理し、「国土交通省型式承認物件一覧表」（2025年版）を作成し、会員、関係機関等に配付した。

3. 2 指導事業

(1) 製造認定事業場継続調査指導

舶用機器等の製造認定事業場28事業場の継続指導を実施した。そのうち、7事業場については、製造に必要な施設や関係書類の継続調査指導に加え、当該事業場が認定を受けてから5年目に該当したため、更新申請のための指導、助言並びに関係書類の確認を行った。

また、更新に際しての現地審査の立会を2事業場について実施した。

(2) 船用品整備事業場巡回調査指導

膨脹式救命いかだ整備認定事業場の15事業場及びGMDSS救命設備整備証明事業場の13事業場の巡回指導を実施した。

巡回調査の中で、整備に必要な施設、関係書類等について厳正な維持、管理に努めるよう指導するとともに、GMDSS救命設備の整備に必要なシールドルームの電波漏洩状況を測定調査し、電波遮蔽状況が規定値内にあることを確認した。

(3) 新規に認定を希望する製造事業場への調査指導

製造認定事業場の認定を希望する2社について、認定に向けた調査、指導を実施し、その結果、1社は、2026年3月に製造認定事業場として認可された。

(4) 船用品整備情報の集中管理

全国の整備認定事業場で整備された膨脹式救命いかだ等の整備データ及びGMDSS救命設備の整備データを集中管理し、整備事業者が新整備記録管理システムにより、船舶に搭載されている膨脹式救命いかだ等の過去の整備記録を取得できるように対応している。さらに、製造年月別の経年劣化の状況等必要な情報を把握して、製造者や整備事業者に提供している。

2025年(1月～12月)は、膨脹式救命いかだを8,465台、GMDSS救命設備を11,365台の整備情報を入力した。

(5) 型式承認関係申請事務に関する指導

関係事業者からの型式承認物件の承認あるいは変更手続等に関する問合せに対応し、適宜指導を行った。

(6) GMDSS救命設備積付け技術研修会の開催

GMDSS救命設備積付け資格者61名に対して、技能の維持、向上を図るための研修会を開催した。

[研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
2025.10.31(金)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者23名)	学科：①GMDSS及び海上通信関連の最新動向 ②機器整備上の留意事項
2025.12.5(金)	新大阪丸ビル別館 (大阪市) (受講者38名)	実技：積付け、外観点検時の注意事項

(7) 磁気コンパスアジャスタ整備技術講習会・研修会の開催

(一社)日本コンパスアジャスタ協会と共催で、磁気コンパス整備技術者を養成するための講習会(A及びB講習会)を開催した。

また、コンパスアジャスタ（有資格者）の技能の維持、向上を図るための研修会を開催した。

[A 及び B 講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
2025. 8. 17(日) ～ 2025. 8. 21(木)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者 1 2 名)	[B 講習会] 1. 自差修正理論及び自差修正 2. 傾船差理論及び傾斜差修正 3. 実技実習及び認定試験
2025. 9. 21(日) ～ 2025. 9. 25(木)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者 2 2 名)	[A 講習会] 1. 磁気コンパスの概要 2. 自差修正理論及び自差修正 3. 傾船差理論及び傾斜差修正 4. 実技実習及び模擬到達度試験

[研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
2025. 7. 5(土) ～ 2025. 7. 6(日)	イマトスペース (広島県三原市) (受講者 5 名)	1. 改訂した整備指導書による講義 及び JIS 規格の解説 2. 自差修正実務における対応の質疑応答
2025. 10. 18(土) ～ 2025. 10. 19(日)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者 9 名)	

(8) イマーシジョン・スーツ整備技術講習会・研修会の開催

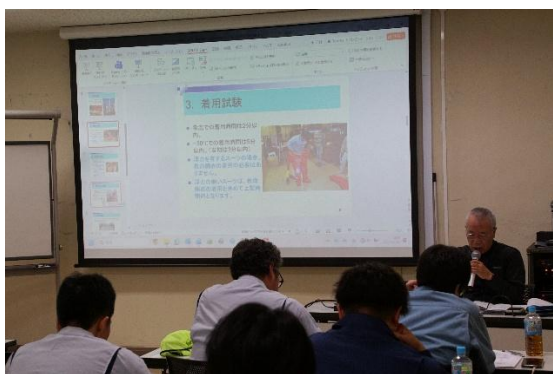
イマーシジョン・スーツの点検整備に精通した人材を育成するために、イマーシジョン・スーツのメーカー 3 社と協力して、イマーシジョン・スーツ整備技術講習会・研修会を開催した。

[講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
2025. 11. 6 (木) ～ 2025. 11. 7 (金)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者：1 1 名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備 2. 気密試験 3. 補修 4. 着用実習

[研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
2025. 11. 6 (木) ～ 2025. 11. 7 (金)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者：14名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備 2. 気密試験 3. 補修



学科講習



実技講習 (気密試験)

イマーション・スーツ整備技術講習会・研修会

(9) 膨脹式救命胴衣等整備技術講習会・研修会の開催

膨脹式救命胴衣等の点検整備を行う者の整備技術の向上を図るため、会員の膨脹式救命胴衣等及び部品の製造事業者9社と共同で講習会及び研修会を実施し、18名を新たに膨脹式救命胴衣等整備技術者として認定した。

また、整備技術者23名を対象に開催した膨脹式救命胴衣等整備技術研修会では、受講者全員の資格を更新し、初期の目的を達成することができた。

[膨脹式救命胴衣等整備技術講習会・研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
2025. 7. 2 (水) ～ 2025. 7. 3 (木)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者：講習18名、 研修23名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備、部品交換 2. 折畳み・収納



座学講義の様子



実技講習の様子

膨脹式救命胴衣等整備技術講習会・研修会

(10) 船舶用消防設備整備技術講習会・研修会の開催

船舶用消防設備の点検整備を行う技術者の養成を行うことを目的として、会員である船舶用消防設備（固定式炭酸ガス消火装置、固定式泡消火装置、固定式粉末消火装置、局所消火装置、火災探知装置、消火器及び個人装具）のメーカー８社と共同して「船舶用消防設備整備技術講習会・研修会」を開催した。

この講習会・研修会の結果、１４名を新たに船舶用消防設備整備技術者（消火器・個人装具に係るもの）として認定、１６名の資格を船舶用消防設備整備技術者（消火器・個人装具に係るもの）として更新した。

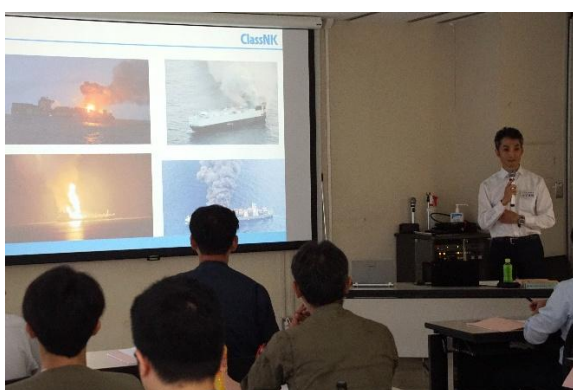
また、メーカー（６社）主催による講習会・研修会（固定式消火装置、火災探知警報装置等に係る実技講習）は、２０２５年１１月１３日～１２月８日の間に各メーカーで実施し、３２名を新たに船舶用消防設備整備技術者（火災探知警報装置又は固定式消火装置）として認定、４１名の資格を船舶用消防設備整備技術者（火災探知警報装置又は固定式消火装置）として更新し、初期の目的を達成することができた。

[A 講習会（学科講習及び消火器・個人装具コース実技講習）]

実施日	場 所	実 施 内 容
2025.10. 2 (木)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者 14名)	講義 1. 基礎知識、関係国際規則 2. 各装置の概要、構造等 実技 1. 各装置の点検整備要領 認定試験 1. 学科試験 2. 実技試験

[A 研修会（学科講習及び消火器・個人装具コース実技講習）]

実施日	場 所	実 施 内 容
2025.10. 2（木）	東京海洋大学 越中島キャンパス （東京都江東区） （受講者16名）	講義 1. 基礎知識、関係国際規則 2. 各装置の概要、構造等 実技 1. 各装置の点検整備要領 認定試験 1. 学科試験 2. 実技試験



NKによる座学講義の様子



実技講習の様子（個人装具）

船舶用消防設備整備技術 A 講習会・A 研修会

[B 講習会・B 研修会（火災探知警報装置又は固定式消火装置実技講習）]

実施日	場 所	メーカー名	実施内容
2025.11.13 （木）	エア・ウォーター防災(株) 神戸本社工場（神戸市）	エア・ウォーター防 災(株)	固定式炭酸ガス消火装置 （受講者：13名）
2025.11.19 （水）	ヤマトプロテック(株) 中央研究所 （茨城県稲敷郡河内町）	ヤマトプロテック(株)	固定式局所消火装置 （受講者：10名）
2025.11.20 （木）	(株)カシワテック技術セン ター（茨城県坂東市）	(株)カシワテック	固定式膨脹泡消火装置、 固定式局所消火装置 （受講者：13名）
2025.12.2 （火）	ニッタン(株) 横浜研修セ ンター（横浜市旭区）	コンシリアム・ニッ タンマリーン(株)	火災探知警報装置 （受講者：10名）
2025.12.4 （木）	能美防災(株) 本社別館 （東京都千代田区）	能美防災(株)	火災探知警報装置 （受講者：13名）
2025.12.8 （月）	日本ドライケミカル(株) 別館（東京都北区）	日本ドライケミカル (株)	固定式粉末消火装置 固定式炭酸ガス消火装置 （受講者：14名）

(11) ISO 関係業務等に関する指導

ISO 規格関連において、船舶に係る国際標準化等に関するアンケートを実施し、規格改正等の実施テーマの要望を調査した。また、ISO 関連の規格改正（特に救命及び消防関係）の審議情報を関係者等に提供した。

(12) 品管時報及び SS ニュースの刊行

定期的な刊行物として、国際海事機関(IMO)の船用品等に関する技術要件改正作業の動向、国内関係法令の改正、通達等の内容、その他会員の参考となる各種情報を内容とする品管時報（4回）及び SS ニュース（3回）を発行した。

(13) ホームページによる情報提供

ホームページによる情報提供を強化し、会員をはじめ多くの海事関係者に対して船用機器や船用品の製造・整備に関係する各種最新情報に関する提供の充実を図った。

3. 3 救命艇装置の安全性向上のための人材養成事業

SOLAS 条約の改正により有資格者による救命艇装置（救命艇及び進水装置）の年次点検等が義務付けられたことに対応するため、救命艇装置整備技術者を養成する「救命艇装置整備技術講習会」及び資格更新の「救命艇装置整備技術研修会」を開催した。

[講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
2025.9. 9(火) ～ 2025.9.15(月)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (海外、国内) (受講者 22名)	学科講習 1. 救命艇装置整備の背景、事故事例、関係規則 2. 救命艇の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領 3. 離脱装置の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領 4. 進水装置の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領 実技講習 1. 救命艇装置の操作、保守点検整備 2. 離脱装置の操作、保守点検解放整備 3. ボートウインチの保守点検解放整備 4. FRP 製救命艇の補修要領 技量認定試験 1. 学科試験 2. 実技試験

[研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
2025. 8. 5(火) ～ 2025. 8. 7(木)	第37回研修会 (海外、国内) (受講者47名)	学科講習 1. 救命艇関係の条約等の更新の最新情報 2. 救命艇装置の整備点検における問題点について 3. 進水装置の整備点検における問題点について 実技講習 1. 離脱装置のトラブルシューティングと部品交換要領 2. ウインチの不具合事例と各種部品交換要領 3. 救命艇・進水装置の保守点検時の不具合事例と対処要領 技能評価 実技演習により、整備技量の低下がないことを評価する。
2026. 3. 3(火) ～ 2026. 3. 5(木)	第38回研修会 (海外、国内) (受講者34名)	



座学講義の様子



実技講義の様子

救命艇装置整備技術講習会

3. 4 相談事業

検査制度及び品質管理全般について、会員あるいは一般からの相談、質問等を受け、適宜対応した。これらの各相談、質問等については、必要に応じ関係官庁、関係機関等と連絡を取りながら対応した。

3. 5 刊行物

2025年度の基盤整備事業に係る刊行物は、次のとおりである。

- (1) 品管時報 (4回)
- (2) SSニュース (3回)
- (3) 国土交通省型式承認物件一覧表